

埼玉県 中山間ふるさと支援事業の 概要

埼玉県農林部
農業ビジネス支援課

中山間ふるさと支援事業とは

- 中山間地域が有する多面的機能の発揮と、地域住民活動の活性化を目的とする。
- 中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱（農林水産省）に基づき、都道府県に基金を設置。埼玉県の積立額は6億9千万円。
- 事業主体は都道府県。
- 運用益と基金を取り崩して事業費としている。事業費は約10,726千円（H26）。

中山間ふるさと支援事業とは

現状

- 高齢化する中山間集落（H22高齢化率 28.6%・全県20.4%）
- 人口減少の進行（H17 → H22 92.84%・全県101.98%）

課題

- 高齢化、人口減少により地域コミュニティの維持が困難
- 営農の継続、伝統文化の継承、耕作放棄地の増加等が懸念

これらの中山間地域が抱える課題に対応するために



「中山間ふるさと支援事業」を実施

事業の構成

調査研究事業

- ・ 地域住民活動の活性化に係るワークショップ等
- ・ 集落営農を確立するための新作物の導入や鳥獣害対策の調査研究

研修事業

- ・ 地域活性化に必要なリーダーとなる人材を育成するための研修会の実施

啓発推進事業

- ・ 中山間地域の持つ多面的機能の理解増進についての普及・啓発活動の実施

計画（H27～H31）

事業区分	事業名	計画期間 の事業量	単位	年度別事業量				
				H27	H28	H29	H30	H31
調査研究 事業	住民活動支援 (コンサルタント)	3	地区	1 (1)	→	1	→	1
	住民活動支援 (ふるさと支援隊)	新規 10	支援隊	2 (3)	2	2	2	2
	集落営農体制確立	10	課題	2 (2)	2	2	2	2
研修事業	集落リーダー育成 研修	新規 10	人	2	2	2	2	2
啓発推進 事業	広報紙の配布	20	回	4 (3)	4	4	4	4
	啓発・普及活動	15	回	3 (3)	3	3	3	3

※（ ）内は平成28年1月末時点の実施状況

調査研究事業のうち

住民活動支援【コンサルタント】

地域住民の話し合いや地域による都市農村交流イベントの実施により、農林業・農山村の多面的機能の良好な発揮を促進する。

平成27年度は、平成26年度に引き続き秩父地域の観光農業を支援している。

秩父地域（H26～27）秩父観光農林業協会



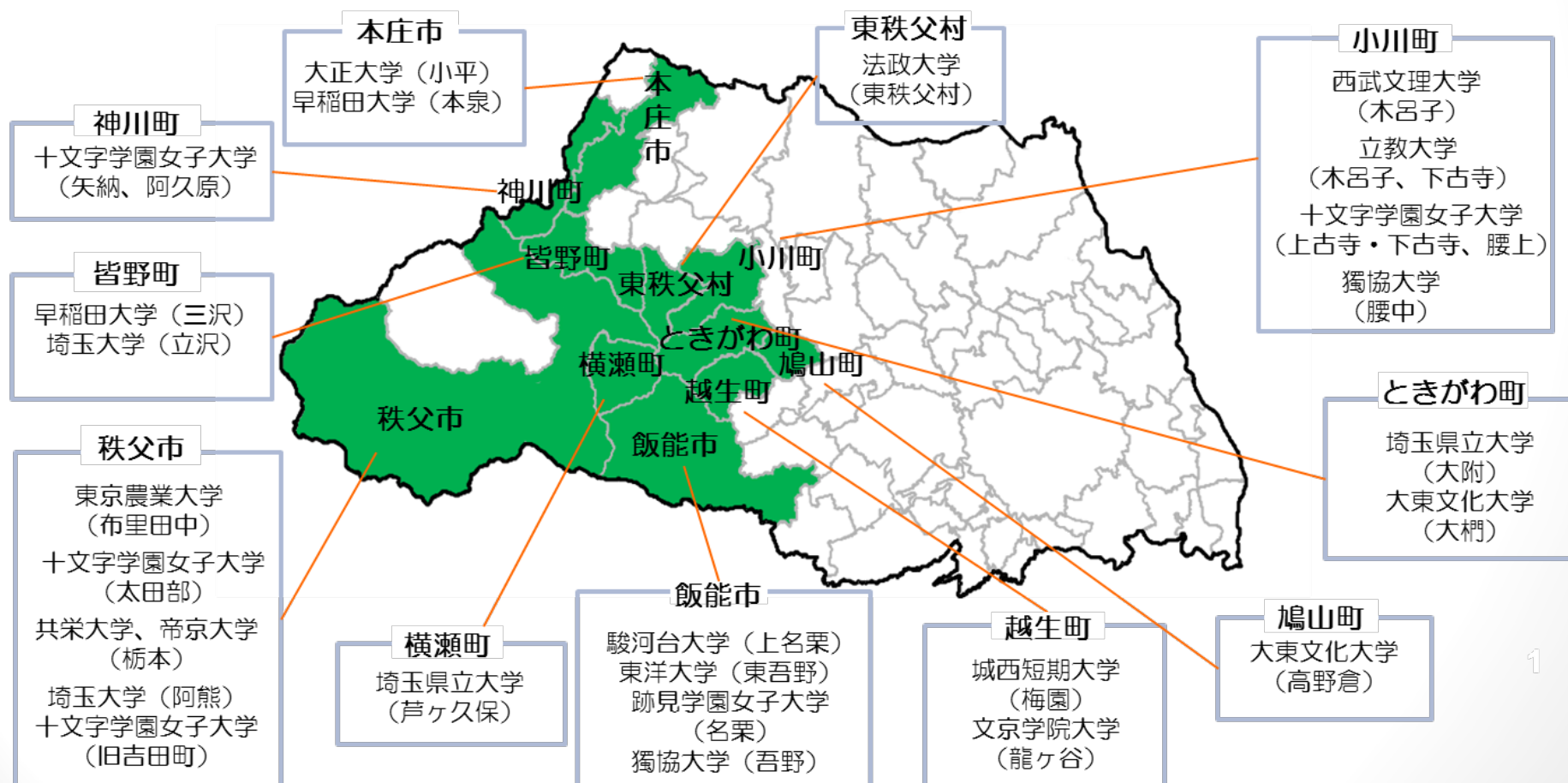
平成26年2月の大雪による被害を契機に、秩父地域の観光農業者が各種団体・企業と連携し、秩父地域の観光農園をPRする様々なキャンペーンを実施。

- 秩父鉄道との連携（SLブルーベリー号、ぶどう郷の運行）
- 西武鉄道との連携（所沢駅でのぶどう・いちごキャンペーンの実施、いちごスタンプラリーの実施）
- SATOYAMA& SATOUMI イベントとの連携（アイドルグループ「C-ute」中島早貴さんと連携したブログや動画、イベントでのPR）

住民活動支援【ふるさと支援隊】

大学生等の持つ新しい視点や行動力、専門技術・知識など「外からの力」を活用することによって、集落の活性化を図る。

平成22年度から延べ30支援隊が活動している。



中山間「ふるさと支援隊」

ふるさと支援隊は、農林業振興、地場産業振興、環境景観整備、鳥獣害対策、観光交流、伝統文化の保存継承、地域コミュニティ等、集落活性化のために幅広い活動を行っている。

<平成27年度>

9大学11のふるさと支援隊が地域活性化に取り組んでいる。



駿河台大学



早稲田大学



獨協大学

ふるさと支援隊の活動（平成27年度）



早稲田大学（皆野町三沢地区）

- ・活動に留学生を交え、文化交流や農作業を実施している。
- ・三沢地区で教わり、地元産の食材を活用した炭酸饅頭をカザフスタンの大学で提供し、地域情報を発信した。



獨協大学（小川町腰中地区）

- ・観光客増加や景観美化を目指し、コスモス畑を整備した。
- ・地域住民と協働で、野菜の栽培を行い、鳥獣害対策として専門家の指導のもと電気柵の設置も行った。



埼玉県立大学（ときがわ町大附地区）

- ・ときがわ町の良さ、移住者を受け入れるための課題を明らかにするために、移住者向け訪問調査を実施した。
- ・高齢者のサロン活動などに参加し、レクリエーション活動を行う。



東京農業大学（秩父市布里田中地区）

- ・地域住民と協力し、地元の小学生を対象に田植え・稲刈りイベントを実施。
- ・吉田の持続を考えるワークショップを開催し、地域住民とともに今後の対策を検討している。



十文字学園女子大学（神川町阿久原地区）

- ・神川町の食・農・自然を「オーガニックビレッジ神川」としてブランド化することを目指し、情報発信を行う。
- ・地域での農作業、料理検討会の実施。



十文字学園女子大学（小川町上古寺・下古寺地区）

- ・地域の高年層と若年層を繋ぎ、持続可能なコミュニティにするための支援を行う。
- ・伝統行事「エンエンワ」を支援。

ふるさと支援隊の活動（平成27年度）



駿河台大学（飯能市上名栗地区）

- ・頻繁に現地に足を運び、地域住民の指導も得て古民家を再生、活動拠点としてエコツーリズムを実施している。
- ・荒廃農地の解消を目指して、畑づくりをし、野菜の栽培も行っている。



東洋大学（飯能市東吾野地区）

- ・健康増進や交流人口の増加を目指し、ウォーキングイベントやグランドゴルフ大会の運営を企画段階から支援。
- ・料理コンテストや餅つき大会の企画運営を支援。



文京学院大学（越生町龍ヶ谷地区）

- ・お宅訪問インタビューを行い、地域資源の洗い出しを行い、オリジナルのマップを作成している。
- ・動画投稿サイトにて学内のチャンネルを設け、地域情報や活動状況をPR。



十文字学園女子大学（秩父市旧吉田町地区）

- ・高齢者のお宅訪問を行い、暮らしや農林業についての昔話を収集している。
- ・地域の祭りに参加し、伝統行事の実践、映像化などの保存継承活動を実施。



大東文化大学（鳩山町高野倉地区）

- ・鳩山大豆ブランド復活を目指し、地域在来の手法で大豆を栽培している。
- ・加工品開発や地元の小学生を招いた枝豆の収穫体験を実施し、まちの話題となる積極的な広報活動を実施。

調査研究事業のうち

集落営農体制確立

集落全体で取り組むべき新たな生産技術や鳥獣害対策等の調査研究を行い、農業生産の維持・拡大による中山間地域の活性化を図る。



鳥獣被害防止対策推進事業

- ニホンザルの効果的被害対策の研究
- 新たな被害防止技術（柵）の開発
- 加害動物に関する知識を周知するための画像を確保し、効果的な啓発活動を実施



秩父地域の風土を活かした茶の製造法の確立

- 地元の古生層の石を利用した秩父地域ならではの特徴のある緑茶の開発
- 手火入れ技術の特徴ある香味を残した簡易製造法の確立
- アグリフードEXPOに出展し、新規需要を開拓

研修事業

中山間地域の活性化の推進及び助言等を行う人材の育成を目的として、中山間ふるさとリーダー研修を実施する。



中山間ふるさとリーダー研修

<H25>

- 住民参加による都市農山村交流の取組方法及び先進事例について
- 野生動物から田畑を守る
～鳥獣被害対策のための意識改革～

<H26>

- 観光農業に係る顧客獲得のための取組
- 秩父地域の農観連携の現状とこれから

啓発推進事業

中山間地域の持つ多面的機能の理解増進についての普及・啓発活動を実施する。

各種イベントでのPR活動



各種イベントにおいて、中山間地域の魅力を発信

- JR浦和駅において秩父地域の観光農業をPR
- SAITAMA Smile Womenフェスタにおいて秩父地域の観光農業をPR
- 彩の国食と農林業ドリームフェスタにおいて埼玉県の中山間地域の農業についてPR

広報誌の配布

中山間地域の農村の魅力や活性化の取組を紹介する情報誌『新・田舎人』を配布

※ 年4回配布(6月、9月、12月、3月)

御清聴ありがとうございました。

